



2026年度 第1回 学校教育アンケート報告

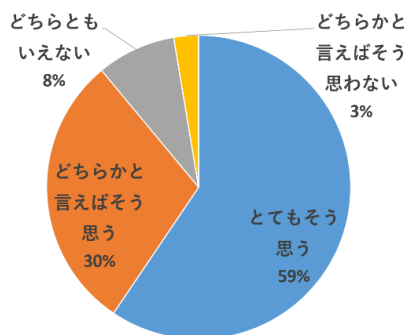
みんなの声を活かして、よりよい南小へ

令和8年9月18日
裾野市立南小学校

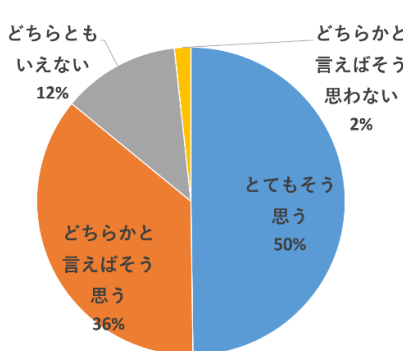
7月の学校教育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童にもアンケートを行い、学校生活を振り返る機会をもちました。皆様の声をもとにこれまでの教育活動を見直し、改善を図りながら、今後の学校づくりにつなげていきたいと考えています。今後も、よりよい南小のためにご意見がありましたら、ぜひお知らせください。

児童アンケート結果

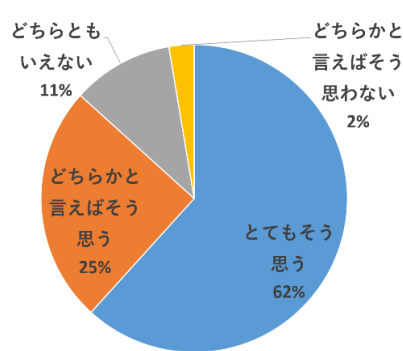
1 学校へ行くのが楽しい



2 かんがえ えらんで やって見た



3 授業が楽しい



学校へ行くのが楽しい・授業が楽しい理由

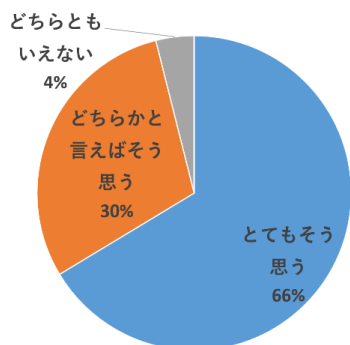
「学校が楽しい」「授業が楽しい」と感じるのは「先生の説明が分かりやすく、学習が理解できること」、「友達と遊ぶこと、友達と関わりながら学べること」が主な理由と回答しています。今後も、安心して過ごせる人間関係づくりを基盤に、対話を通して考えを深めたり、自分で方法を選んだりして、進んで挑戦する子供を育てる授業づくりを進めていきます。

かんがえ えらんで やって見た

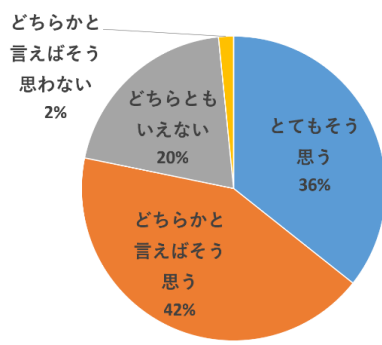
国語や算数などの授業では、自分の考えをもち、学び方を選びながら取り組む姿が見られました。また、高学年では自然教室や委員会活動などにおいても、自ら考えて判断し行動する経験を積んでいることが分かります。アンケート結果から、「かんがえ えらんで やってみる」が授業や学校生活の様々な場面で実践されていることがうかがえました。今後も児童が主体的に選択し、挑戦できる機会を大切にしていきます。

保護者アンケート結果

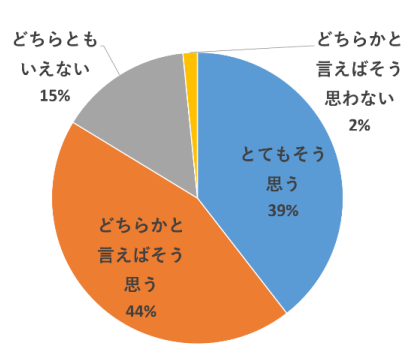
1 お子さんは、楽しく学校に通っている



2 かんがえ えらんで やって見た



3 お子さんは、楽しく授業を受けている



保護者の記述から

お子さんが楽しく学校に通っていると感じるのは、「友達や先生との良好な人間関係」、「授業が分かりやすく、学ぶことが楽しいと感じている」ことが主な理由として挙げられました。今後も、子供たちが安心して過ごせる環境づくりと、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに努めていきます。

また、「かんがえ えらんで やって見た」ことを通して、自分で考えたり選択したりする姿や、新しいことに挑戦する姿が家庭でも見られていることが分かりました。このことから、子供たちが学校での学びや経験を家庭生活にも生かしている様子が見られます。今後も、子供たちが自ら考え、判断し、行動する力を育ていけるよう、答えをすぐに与えるのではなく「どうしたいと思う?」「どちらを選ぶ?」と子供自身に考えさせる問い掛けや、「やってみてどうだった?」「挑

戦したことがすごいね。」と過程や挑戦を認める声掛けについて、学校と家庭で共有しながら子供たちの成長を支えていきたいと考えています。

児童・保護者の記述から見えた共通点と今後の取り組み

人間関係の安心感（友達・先生との関係） 授業の楽しさ・分かりやすさ

児童・保護者のアンケートからは、友達や先生との温かな人間関係の中で安心して過ごせること、そして授業が分かりやすく「できる・分かる・楽しい」と感じられることが、学校生活の充実につながっていることが分かりました。今後も、一人一人が安心して学び、自分らしく力を発揮できる学級づくりと授業づくりを進めていきます。

また、本校では今年度、児童が主体となって進める「委員会活動」に取り組んでいます。「学校をより良くするために、どのような委員会が必要か」を1から考え、立ち上げ、活動内容を工夫しながら試行錯誤を重ねています。この活動は、学校教育目標である「かंगाえ えらんで やってみる」を実践する大切な機会となっています。今後も子供たちの主体的な挑戦を支えながら、自ら考え、選択し、行動する力を育む学校づくりを進めていきます。

児童・保護者の声から南小の未来を考え～よりよい南小にしていけるために～

よりよい南小を作るために、どうしたらよいかを、児童・保護者・教職員がそれぞれの立場から意見を出し合い、手を取り合って学校づくりを進めていくことが大切だと考えています。

児童の記述

意見	学校の対応・回答
・挨拶をもっと増やしたい。 ・廊下を走っている人を減らしたい。 ・校庭にごみを捨てない、教室をしっかりと掃除したい。 ・みんなで楽しめるイベントをしたい。	委員会では、子供たちがやってみたいと思ったことをどうしたら実現できるか、子供たち自ら考えて、判断して、実行しようとする姿を大切にしています。児童の意見を基に、各委員会で様々な取り組みを企画し、みんなの「～したい」という思いを実現できる機会を増やしていきます。 挨拶については地域の方から、「元気いっぱい挨拶をしてくれた。とっても嬉しい気持ちになった。」という意見もいただいています。子供たちのよさをさらに広げていけるよう、地域や学校で見られたよい姿を積極的に紹介し、互いに認め合う機会を大切にしながら取り組んでいます。

保護者の記述

意見	学校の対応・回答
・4時間授業時のお弁当持参について	給食の実施回数が年間で定められていることから、全校でお弁当を持参する日を設定しています。また、4時間授業の日に昼食をとらずに下校すると、ご家庭で昼食をとる時間が午後1時を過ぎることも考えられるため、児童の生活リズムや昼食時間を考慮し、昼食後の下校をしています。2学期以降も、4時間授業後にお弁当を食べて下校する日があります。児童の生活リズムや教育課程全体を踏まえて設定していますので、ご理解いただければと思います。
・給食着を1週間使用することについて	衛生面へのご心配もあることから、週の途中で持ち帰り、洗濯していただいても構いません。一方で、学校として週の途中で持ち帰りを一律で定めることは、給食着の管理やご家庭での負担等を考慮すると難しい面があります。週末を待たずに持ち帰る場合は、ご家庭でお子さんに声をかけていただきますようお願いいたします。なお、給食着の汚れが著しい場合には、学校の判断で持ち帰らせることもあります。
・みなみっ子祭り平日開催について	今年度のみなみっ子祭りは、より多くの子供たちが参加できるようにするため、平日に実施する予定です。休日は習い事などの予定があり、学校行事への参加が難しいご家庭もあることから、平日に開催することにしました。今年度初の取り組みなので、またご意見をいただけたらと思います。
・放課後の過ごし方について	放課後の過ごし方については、基本的には各家庭での見守りや判断をお願いしています。一方で、放課後、学校で遊ぶ児童の様子について、気になる点がある場合には、学校としても必要に応じて安全な遊び方やルールについて指導していきます。また、委員会活動で取り上げ、よりよい過ごし方について学校全体で考えていきたいと思っています。